

# 術後悪心嘔吐に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター麻酔科では、「機械学習を利用した PONV 予測モデルの作成」の研究を行うことになりました。

この研究の目的は、全身麻酔後の悪心嘔吐を、従前の方法より正確に予測することです。

この研究のため、2020年4月1日より2022年3月31日までに全身麻酔で手術をした方の診療録、麻酔・手術記録の調査を行います。対象となるのは全身麻酔を行った20歳以上の方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢・身長・体重、麻酔リスクレベル、麻酔方法、手術時間など手術に関わる情報、手術中の薬剤の使用量）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年7月

研究責任者

東京医療センター 麻酔科

森 庸介

連絡先 03-3411-0111(代表)